

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 6 年 3 月 7 日

番号	1	質問者	澁 本 稔	タイトル	公共交通の利便性はかれ
質問事項		質問要旨			答弁を 求める者
1	デマンド型乗 合交通の充実 を	(1)	事前予約方式に対する住民の不安に、どのように対応 するのか。		市 長
		(2)	J R や路線バスとの共存について、①播但線の寺前一 和田山間の乗車密度は何人か。そのうち通勤・通学者 は何人か。②各駅ごとの乗降客数は何人か。		
		(3)	将来、デマンド型乗合交通が、旧町エリアを越えて運 行すると、J R の乗車密度に影響するか。		
		(4)	路線バスの生野駅西口―神崎病院路線は、何年間運行 されるのか。		
2	実践的な防 災・避難訓練を	(1)	市内一斉避難訓練等で行われている各地区の具体的 な訓練内容を問う。		市 長
		(2)	倒木をチェーンソーで切断・撤去、倒壊した家屋をバ ール等で空間をつくる、段ボールベッドや間仕切りを つくる、飯盒炊飯・炊き出しをする等の実践的な訓練 を、どのように取り組むのか。		
3	ふるさと納税 の増大にむけ て	(1)	寄付額の増大のために、朝来市の魅力アップが必要。 応援したくなる自治体になるために、どのように取り 組むのか。		市 長
		(2)	情報発信力を強化するために、どのように取り組むの か。		
		(3)	専門スキルを持つ職員の養成に、どのように取り組む のか。		

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 6 年 3 月 7 日

番号	2	質問者	尾 崎 里 美	タイトル	災害について
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	朝来市の災害対策について	(1)	市長はどのような災害対策を考えているのか。		市 長
		(2)	危機管理部防災安全課の人員体制は十分か。		
		(3)	災害時、増員は考えているのか。		
		(4)	何らかの支援が必要な方はどれ程おられるのか。		
		(5)	独居や高齢世帯はどれ程おられるのか。		
		(6)	避難状況や安否確認はどの様に行うのか。		
		(7)	福祉避難所はどの様になっているのか。		
		(8)	受入人数がオーバーになった際の対応は。		
		(9)	避難所生活が難しい方の対策はどう考えているのか。		
		(10)	ライフラインに支障が起きた場合の対策はどう考えているのか。		
		(11)	避難所の老朽化は大丈夫なのか。メンテナンスは考えているのか。		
2	能登半島での救援活動	(1)	朝来市としてどのような救援活動に取り組んでいるのか。		市 長
		(2)	家屋調査の実態は。		
		(3)	水道の被害状況と復旧の見込みは。		
		(4)	兵庫県や近隣市町との救援活動はどのような状況でしましたか。また、どの様にネットワーク化しているのでしょうか。		

	<p>(5) 市民団体と行政との温度差について。</p> <p>(6) 民間ボランティアや企業ボランティアの協働が必要だが民間ボランティアや企業ボランティアの把握は出来ているのか。</p> <p>(7) 今後も継続して能登半島地震で被害を受けた方に朝来市として長期的に支援していかないといけない。どの様な支援が出来るのか。</p>	
--	---	--

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 6 年 3 月 7 日

番号	3	質問者	嗟 峨 山 博	タイトル	幸せが実感できるまちとは何か
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	施政方針について	<p>(1) 【はじめに】 能登半島地震発生後、本市においても職員派遣を行い災害対応、復興支援等を行なっているとの報告を受けているが、この災害から市長はどのようなことを学び、今後、市民の生命財産を守るためにどのような指導をしていくのか。</p> <p>(2) 【これまでを振り返って】 コロナ禍対応、物価高騰対策として、様々な支援を行なっているが、どのような評価をしているか。また、今後の対策をどのように考えているか。</p> <p>(3) 令和 4 年度は「市民の暮らしを守る道のり予算」、5 年度は「幸せと暮らしを守り始動する予算」としてきたが、市民の暮らしは何が変わったか。本市がどのように変化したかわからない、市民に伝わっていないとの意見を聞く。まちの未来をどのように描いているか。将来をどのように見据えているか。市長の所見を伺う。</p> <p>(4) 支所で行なってきた事業が削減、縮小となっているように考える。今後の支所機能、各地域のまちづくり等、どのように考えているのか。</p> <p>(5) これまでも、他市町との差別化、差別化が必要であると訴えてきたが、本市と周辺市町との施策の格差をどのように考えているか。 ①新潟県長岡市「子育ての駅」の取り組みを代表質問で紹介したが、市長はその後どのように評価、研究したかを伺う。</p> <p>(6) 新たに公園を設けたり、遊具の更新を行うなど、子育てをされている方々から喜びの声がある。これに満足せず、多世代が集える交流の場とすれば、地域活性化にもつながると考える。公園を活用した地域活性化について市長はどのように考えるか。</p>			市 長

	<p>①市民が健康で生き生きと暮らすのも幸せが実感できる一つである。子どもの遊具だけでなく、健康遊具を設けることにより、多世代が集える公園になると考えるが市長の所見を伺う。</p> <p>②琵琶の丸公園の周辺の遊歩道を活かし、新たにウォーキングコースを設ける考えはないか。</p> <p>③現状維持は衰退の始まりと言われている。そういったことから、新規事業や事業の拡充もされている。しかし、公園整備等については整備して終わりではなく、これをどのように活かしていくか、という視点も必要ではないかと考えるが市長の所見を伺う。</p> <p>(7) 新規就農施策等これまでの取り組みにより成果が出ていると評価している。特に、若者の生産者も増えていると思われる。これまでも課題はこれからの農業を担う若者たちが、いかに笑顔で暮らしていけるかであると訴え、当局も様々な施策を考え取り組みが行われている。生産者の生活水準等はどのように変化しているか伺う。</p>	
--	--	--

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 3 月 7 日

番号	1	質問者	加 藤 貴 之	タイトル	持続可能なまちづくりを
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	川の上流部における開発と生態系保全の両立	<p>生野町内の市川上流部の普通河川で民間事業者による流れ込み式小水力発電所の開発が進んでいる。発電所が作られると取水区間の水量が減る。水量減による生き物への影響を懸念する声が多くある。</p> <p>(1) 開発を許可する前に生き物の調査をすべきではないのか。</p> <p>(2) 河川管理について</p> <p>① 市内の普通河川から新たに取水を行おうとする場合、どのような手続きが必要か。正常流量の調査は必須か。</p> <p>② 市内に準用河川は何ヶ所あるか</p> <p>③ 準用河川の指定基準はあるか</p> <p>④ 準用河川では取水申請時に正常流量の検討が必須になり、生態系の維持が図られる。貴重な生物が住む普通河川を準用河川に指定することを提案するがいかがか。</p> <p>(3) 生態系保護について</p> <p>① 市内河川上流部にはどのような生物がいるのか。</p> <p>② 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）および朝来市生物多様性地域戦略の策定目標はいつか。策定に向かってどのように進んでいるか。</p> <p>③ 令和 4 年度に黒川自然環境基本構想が策定された。オオサンショウウオは黒川だけでなく市内全域にいる。天然記念物を開発からどう守るのか。</p> <p>④ 生野支所は「オオサンショウウオの棲む町」としてのまちづくりを進めている。このような開発が検討された場合、どう対応していくのか。</p> <p>⑤ 小水力発電の開発が行われる際に、市独自で事前に天然記念物および貴重な生き物がないかを調査すべきと考えるが可能か。</p>			市 長 教育長

	<p>(4) 再生可能エネルギーの推進について</p> <p>① 第三次総合計画では再生可能エネルギーの普及を推進すると掲げているが、具体的にどのような取り組みを市は行っているか。</p> <p>② 生野マイクロ水力発電事業について。総工費はいくらかかったか。発電量、売電額の実績は。今後、市で小水力・マイクロ水力に取り組む可能性はあるか。</p> <p>③ 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定の際には、地球温暖化対策推進法に基づき、再生エネルギー発電施設立地の「促進区域」「許可申請区域」「禁止区域」のゾーニングを設けるべきと考えるがいかがか。</p>	
<p>2 「稼ぐ地域」を目指すべきか</p>	<p>朝来市の地域自治協議会の運営には市からの地域自治包括交付金が果たしている役割が大きい。一方、全国で地域活性化に成功している地域の事例を見ると、自主財源の獲得に力を入れている地域が多い。</p> <p>(1) 包括交付金について</p> <p>① 自治協の制度が確立した平成 21 年から令和 4 年までの 13 年間に人口は 34,385 人から 28,912 人と 16%減少した。その一方で包括交付金の地域配分費の総額は 4000 万円前後でほぼ横ばいである。この総額は何に基づいているのか。</p> <p>② 現在、包括交付金の財源のほとんどは地域振興基金の取り崩しである。同基金の当初積立額と、現在の残高を問う。この基金が尽きたら包括交付金制度は終了するのか。</p> <p>③ 事務局運営費を平成 25 年に従来の 180 万円から 280 万円に上げた理由は。</p> <p>④ 事務局運営費は人件費相当分として一律に交付されている。一方、光熱費については市の予算で賄っている地域と、自治協が自己負担している地域があり不公平である。必要に応じて事務局運営費の配分額に光熱費分を上乗せすることを提案するがいかがか。</p> <p>(2) 自主財源について</p> <p>① 朝来市では合併後に「地域協働・地域自治システム」が作られ、その中で地域自治協議会の制度が</p>	<p>市長</p>

	<p>確立された。「地域協働」と「地域自治」はどのように異なるのか。「地域自治」と「地域の自立」は異なるか。</p> <p>② 現在、自治協が果たすべき役割や、行政が自治協に求めるものは、合併当初の計画と同じなのか。</p> <p>③ 平成20年に作られた朝来市「地域協働の指針」には財源についての記載がほとんどない。包括交付金の中で活動をすればよいという思いだったのか、それとも、一定の自主財源の獲得を目指すものなのか。</p> <p>④ 市の決算書の「地域自治包括交付金実績状況」シートには、自治協ごとに毎年の自主財源の割合が示されている。ここで自主財源割合を測る目的は何か。現状、自治協によって割合に大きく差があるが、どのような分析をしているか。</p> <p>⑤ 自主財源を獲得している自治協は例えば具体的に、どのような取り組みをしているのか。</p> <p>⑥ 法人格を持つ団体を設立した地域はあるか。どのような目的で設立されたのか。</p> <p>⑦ 自治協は自己資金が少ないため、設備投資をして事業に取り組むには借金をすることになる。その場合、利息の支払いが大きな負担となる。自治協が金融機関から借入れをして新事業に取り組む際の利息を市が全額補助する制度の創出を提案するがいかがか。</p>	
--	--	--

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 3 月 7 日

番号	2	質問者	水 田 文 夫	タイトル	住み続けたい元気で美しい朝来
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	大災害に備えて	<p>(1) 災害時に、避難所等で健康を害して死亡するという関連死がみられ、その原因の一つが、トイレ問題だとされています。トイレには水が必要です。市内の避難所で井戸のある避難所は、何か所ですか。</p> <p>(2) 地震や豪雨災害などで水道施設などが損壊した場合、長期間にわたる断水が懸念されます。飲料水については、配給がありますが、避難生活が長期化した場合、生活用水の不足が懸念されます。こうした災害での懸念を踏まえ避難所への防災井戸の設置をしてはどうでしょうか。</p> <p>(3) 避難生活において、水が十分に使えないことによって、洗濯や風呂が制限されます。避難所だけでの井戸水では対応できなくなります。市内の個人や企業で井戸のあるのは、何か所ですか。</p> <p>(4) 生活用水を確保するため、大規模災害時に近隣の被災者へ、生活用水を提供いただける「災害時協力井戸」の制度を設置している市町あります。災害用協力井戸制度を設定し、登録してはどうでしょうか。</p>			市 長
2	朝来の立地を企業誘致に活かす	<p>(1) 令和 5 年度から新産業団地の計画が進められ、令和 6 年度予算で 1 億 2 千万円の予算が提案されています。誘致企業は決まりつつあるのか。</p> <p>(2) 産業団地を整備してから企業を探すのではなく、立地企業を決めて、その企業に合わせた団地整備は考えられないか。</p> <p>(3) 社人研は、2020 年 15,128 人であった朝来市の生産性年齢人口が 2050 年 7,318 人になると推計しています。労働力不足の中で、朝来を企業に売り込む場合、朝来にはどのようなポテンシャルがあると説明されますか。</p> <p>(4) そのポテンシャルを生かした企業は、どのような企業が考えられますか。</p> <p>(5) 国、県ではダイハツ工業(株)の生産停止による影響を受けた中小企業者等へ支援を行っています。朝来市内に影響を受けた企業があるか把握されていますか。</p>			市 長

<p>3 人口減少対策について</p>	<p>人口減少は、多岐にわたる地域課題を生んでいます。 しかし、人口減少を消極的にとらえるだけでなく、生産性を高める契機として捉えることも可能ではないかと考えます。人口減少を前提とした政策の在り方、取り組み方針について伺います。</p> <p>(1) 社会保障制度の維持や持続可能な行政運営には、財源が必要になりますが、財政規模はどの様に推移していくでしょうか。</p> <p>(2) 公共サービスは、どのようになっていくとお考えですか。</p> <p>(3) 地域経済についての対策はお考えですか。</p> <p>(4) 限界集落という言葉が使われ始めてから数年経ちます。地域コミュニティは、どのようになっていきますか。</p> <p>(5) 道路、橋、交通網に、上下水道などインフラの維持は、どのように取り組まれますか。</p> <p>(6) 子どもが減っています。したがって、学校統合など教育機関の問題はどのように対処されますか。</p>	<p>市長 教育長</p>
---------------------	---	-------------------

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 3 月 12 日

番号	3	質問者	松 井 道 信	タイトル	ポストコロナと SDG s
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	ポストコロナと SDGs	(1)	市長は SDG s に対してどのような認識を持っているのか。また職員への周知や意識付けをどう考えているのか。市政を運営する上での SDGs の位置づけはどうか。		市 長
		(2)	市民や事業者など様々な主体が SDG s に取り組むための環境整備や支援策について、どのように考えているのか。現在の取組とそこから出てきた課題は何か。		
		(3)	第 3 次朝来市総合計画の後期基本計画見直しに際し、SDG s の 17 の目標を市の計画に当てはめていく必要があると考える。持続可能な社会実現に向けて必要と考えるがどうか。		
		(4)	第 3 次朝来市総合計画の「ありたいまちのすがた」とは何か。やるべき目標が決まっている SDG s にあっては、「ありたいまち」ではなく「あるべきまち」なのではないか。市長は未来の朝来市のビジョンをはっきりと示すべきではないか。		
		(5)	ポストコロナでの経済支援策をどう考えるのか。スタグフレーションの時代にあって持続可能な対策をどう考えるか。		
		(6)	SDG s 未来都市やスーパーシティー構想を実施している SDG s 近隣先進地との格差についてどう考えているのか。本市はすでに波に乗り遅れているのではないのか。		
		(7)	ニューノーマル時代における働き改革について、市長はどのように捉えているのか。地域活性化に結び付くと考えるが、所見を伺う。		
		(8)	地方創生と SDG s についてどのように考えるのか。本市が目指す地方創生と SDGs はリンクして考えるべきではないか。		
		(9)	ミレニアル世代を活かした SDGs の取組を図るべきである。本市の未来を考えるのであれば、今働き盛りを迎え、子育て世代でもあるこの世代に注目する必要があるにもかかわらず、本市では支援策が少ないのではないのか。		

	<p>(10) 関西万博と SDG s について。いよいよ来年は関西万博の年である。滅多とこないようなこのチャンスにうまく乗っていく必要があると考えるが、どのような施策を考えているのか。</p> <p>(11) 仕事があれば人が集まり、街が活性化します。逆に街に魅力が無ければ、人も企業も去っていく。こうした時に SDG s は課題解決だけでなく、うまく使えば課題の発掘に繋がる。市長のリーダーシップで積極的に上手に活用し、他市から羨望の的となる様な飛躍を目指すべきだ。所見を伺う。</p>	
--	---	--

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 3 月 12 日

番号	4	質問者	足 立 義 美	タイトル	令和 6 年度施政方針を問う	
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者	
1	未来をつくる 「人」を育む	(1) 部活動指導員配置促進事業 ア 部活動あり方検討委員会の予算措置がなされていないようですが、いかがですか。 イ 部活動あり方検討は、第 4 期朝来市教育振興基本計画への反映が重要と考えますが、具体的にはどのようにするのですか。 (2) 文化会館施設等整備事業(和田山ジュピターホール整備) ア 工事期間は、1 年半を要するようですが、代替施設等、この間の対応策はどうなっていますか。 イ 各種団体等への周知は、どのように図られていますか。				市 長 教育長
2	地域で循環する産業を確立する	(1) 有機農業産地づくり推進事業(オーガニックビレッジ宣言) ア 有機 J A S 認証取得に向けた取り組みや有機農業の推進に向けた実証ほ場の設置等を行っていますが、委託料は減額されています。実現に向けてどう取り組もうとしておられますか。 (2) 水稻生産緊急対策事業 ア 事務手続き及び確認作業の実施方法はどのようにされますか。 (3) 農業競争力強化農地整備事業 ア 東河地区の再ほ場整備事業を令和 1 2 年度までの 7 か年で実施されるようですが、全体の市負担額は、どの程度となりますか。 イ 今後、他地域の再ほ場整備事業を実施していく計画はありますか。				市 長 教育長

	<p>(4) 竹田城跡保存活用事業(XR事業)</p> <p>ア 自分たちで研究するだけでなく、外部の専門家等の知見を取り入れようとしていると思いますが、具体的には、どのような委託内容を考えておられますか。</p>	
3 地域力をより高める	<p>(1) 定住促進事業(大規模婚活イベント、結婚新生活支援ほか)</p> <p>ア 大規模婚活イベントを実施するとされています。昨年まで実施されていた出会いサポート事業との違いはどのようなことですか。</p> <p>イ 結婚新生活支援補助金が新設されますが、所得制限はありませんか。</p>	市長
4 健幸で心豊かな暮らしを実感できる	<p>(1) 重層的支援体制整備事業</p> <p>ア やがて重層的支援会議が開催されるようですが、会議メンバーは、どのように考えておられますか。</p> <p>イ 予算額は、令和6年度では、比較的少額のようにですが、令和9年度の本格実施に向けてどのような準備が予定されていますか。</p> <p>(2) 在宅保育支援事業</p> <p>ア 未就学児が保育所・こども園等に入園する要件を満たさず、家庭内で保育する場合に支給とされていますが、要件を満たしていないという判定はどのようにするのですか。</p>	市長 教育長
5 安全・安心な都市基盤を持続する	<p>(1) 都市計画総務一般管理事業(JR 和田山駅南北自由通路、朝来医療センター周辺企業意向調査)</p> <p>ア JR 和田山駅南北自由通路の概略設計にあたっては、駅北エリアの土地利用計画と一体的に検討すべきと考えますが、どのような扱いになっていますか。</p> <p>イ 朝来医療センター周辺を対象に、企業意向調査が実施されますが、周辺地域の農地区分はどのようになっていますか。</p>	市長

6 効率的で健全な行財政運営を実現する	(1) 自治体 DX 推進事業 ア 「書かない窓口」システムの導入が計画されていますが、他市の導入状況と市民サービスにどの程度貢献すると考えておられますか。	市長
---------------------	---	----

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 3 月 12 日

番号	5	質問者	吉 田 俊 平	タイトル	公正な市政と、学力向上を！
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	政治倫理について	(1) 朝来市議会議員倫理条例について伺います。 (2) これまでの経緯について伺います。 (3) 1 2 月議会の答弁の意味について伺います。 (4) 契約について伺います。 (5) 朝来市議会議員倫理条例の法的効果について伺います。			市 長 教育長
2	ハラスメント調査について	(1) 2 月 1 日に「ハラスメント防止研修会」が議会で実施された際に、講師の前兵庫県弁護士会長の中上弁護士が「行為認定を行わなければハラスメントには該当しない」、「瑕疵ある手続き」とご説明されましたが、議員ハラスメント調査において全件について行為認定を実施されたか伺います。			市 長
3	令和 5 年度全国学力・学習調査結果について	(1) 小学生において、国語が全国・県平均、算数が全国・県平均以下、中学生において、国語が全国・県平均以下、数学が全国・県平均以下、英語が全国・県平均以下の結果となったが、この結果をどの様に受け止めたか伺います。			教育長
4	生野図書室について	(1) 市民が求める生野図書室の在るべき理想の図書館像をどの様に考えるか伺います。			市 長

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 3 月 12 日

番号	6	質問者	関 綾 乃	タイトル	住んでよかった朝来市に！	
質 問 事 項		質 問 要 旨				答 弁 を 求 め る 者
1	能登半島地震への災害支援から考える朝来市での防災について	<p>(1) 能登半島地震ではどのような支援活動を実施したのか。</p> <p>(2) 震災直後と約 2 ヶ月が経過した現在では、路面が悪かった道路も応急処置で緊急車両・支援車両等が通行可能になったり避難所への支援物資も広く届くようになるなど被災地の状況も変化している。一方で、なかなか効率的とされる重機が運び込めないエリアも残されているなど、当初から解決が困難なままの課題もあると聞く。それらを含め、本市で同様の災害が発生した場合に想定できる課題は何か。また、それを受け、どの様な対応が必要になると想定できるか。</p> <p>(3) 緊急輸送路や緊急輸送道路を確保するためにも、必要となる道路については啓開が必要となる。そのための車両確保や災害廃棄物の処理等、どの様に行うのかシミュレーションやその手順について伺う。</p> <p>(4) 本市でも毎年秋に避難訓練が実施されているが災害は季節を選ばず起こる。今回の能登半島地震のように真冬に・また熱中症を懸念する真夏も想定する必要がある。その様な時期にも対応できるよう、訓練の内容を変えながら実施することも必要と考えるが、どの様に実施するか。</p> <p>(5) ①マイ避難カードの作成について、どの様に周知し進めていくのか伺う。 ②教育委員会や学校にも協力いただき、夏休みの宿題にしたり、地域住民の方には防災訓練等でカードを作成するなど、マイ避難カードの作成は、防災において「自助」力を上げることについて非常に有効と考える。カード作成後は、どの様な活用を想定しているか。</p> <p>(6) ①開所した避難所は、行政職員だけが運営するのではなく基本的には自主運営となる。避難所を運営するマ</p>				市 長 教育長

	<p>ニユアルはどの様なものか。</p> <p>②自家用車を所持している割合が高い本市においては、避難生活を車内で過ごす市民も想定される。避難所だけでなく、そうした分散したかたちでの避難が増えれば、その把握も困難になると考えるが、どの様に情報収集し対応するか。</p> <p>③様々な観点から女性も避難所運営について携わるべきと考えるが、どうか。</p> <p>(7) 地震が群発し続け、周辺の道路が壊滅的になっている地域においてはドローンが活躍したのではないか。特に 74%が森林の本市においては災害により土砂崩れも伴った被害が想定される。それにより寸断される道路・孤立する集落が複数想定できる。被害状況を把握する上でもドローンは有効と考える。その導入について、どの様に考えるか。</p>	
--	---	--

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 3 月 12 日

番号	7	質問者	西 本 英 輔	タイトル	放課後等デイサービスについて	
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者	
1	放課後等デイサービスについて	(1)	放課後等デイサービスの設置目的は何か。			市 長 教育長
		(2)	市内には4つの放課後等デイサービスがあるが、登録者と一日の定員総数は何名か。			
		(3)	複数の放課後等デイサービスを併用している児童の割合は。			
		(4)	上記で併用している児童がいる場合、その理由は何で、メリットとデメリットは何か。			
		(5)	上記(3)(4)を勘案した上で、市内の放課後等デイサービスは充足しているのか。			
		(6)	利用者の内、市立小中学校（適応指導教室含む）に通学している児童の割合は。			
		(7)	放課後等デイサービスと学童クラブを併用している児童はいるのか。いる場合、その人数は。			
		(8)	療育的な観点からも、可能であれば時として学童クラブにて健常児と同じ時間を共有することは大切なことである。しかしながら、負担限度額はそれぞれに設定されている。併用した場合でも学童クラブの負担限度額に収まるようにするなど、負担軽減策が必要ではないかと考えるが、どうか。			
		(9)	上記(3)(6)(7)を踏まえ、それぞれと放課後等デイサービスの連携（情報共有）は非常に重要であると考えるが、現状はどうなっているか。			
		(10)	朝来市障害者自立支援協議会において放課後等デイサービス連絡部会という専門部会が設置されているようだが、部会ではどのような検討がなされているか。また、そこでは「現場の声」は十分に取り上げられ、スピーディーに福祉施策に反映されているか。			

- (11) 切れ目のない支援を行う為には、連携は欠かせない。特に学校は家庭を除く一日の大半を過ごしている場であり、学校と放課後等デイサービスが日頃の様子を共有したり、教育活動の理解深め、それぞれの役割分担を明確にする必要がある。しかし、その連携が難しい理由の一つに、教職員と施設職員の忙しい時間帯（手の空く時間）が同一でないことがあるのではないかと。
- (12) 全国では、担当者と相談員が学校訪問を行ったり、担任が気軽に質問などを投函できる専用メールボックスを設置するなどして情報共有の対策を講じている事例もみられるが、それらは施設側が主体となっている例のようである。教育サイドからも既存の「あさごサポートファイル」や電子メールの活用、担任教師や養護教諭、学びのサポーター、スクールソーシャルワーカーなどの校内における情報共有の強化を図り、放課後等デイサービスとの連絡を取りやすい体制を整えるなど、今以上の相互の情報共有に向けた取り組みを早急に研究、検討すべきと考えるが、どのように思われるか。
- (13) YOU・愛センターにて、社会福祉協議会が放課後等デイサービスを運営されているが、同施設は建設から50年以上が経過しており、公共施設再配置計画によると、「機能については継続し、施設に関しては他の公共施設への移転を含め、検討が必要」とある。現在、どのような検討が進められているか。
- (14) 放課後等デイサービスの性格上、市内のどこに居住していても利用できなければならない、もちろん各施設の特色により当事者に合った施設を利用する必要性はあるが、基本的に通所や送迎の面からもムラのない配置が望ましいのではないかと。
- (15) 現状、市内には中川地域に1施設、竹田地域に3施設の4施設があり、上記のYOU・愛センターは竹田地域にある。機能を維持したまま移転するのであれば、他の施設の所在も勘案した上で運営されている社会福祉協議会と協議をするべきと思うが、どうか。

	<p>(16) 放課後等デイサービスを利用するには市の通所受給者証が必要であるが、法改正により、本年4月1日から申請要件はどう変わるか。</p> <p>(17) 医師の診断書は医療保険の対象ではなく、全額自己負担である。通所受給者証の申請の為の取得の際にも、障害者手帳申請用診断書取得費用助成と同じく助成を、また同助成では市民税非課税世帯でなければ助成対象とならないが、その改正も併せて行っはどうか。</p>	
--	--	--

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 3 月 13 日

番号	8	質問者	藤 原 正 伸	タイトル	令和 6 年度の市政運営について
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	朝来市の地方創生について	<p>令和 6 年度施政方針が示されました。</p> <p>(1) 市の施政の方針は、市の方向性や目標を示すものであり、市の最重要課題に取り組むことがその中心にあると考えます。 あらためて本市の最重要課題について、ご認識を伺います。</p> <p>(2) 地方創生の根底にある課題は「持続可能な地域経済の構築」と考えられますが、その基本とされる 3 つの視点「まち・ひと・しごと」について、本市の創生総合戦略上の考え方を伺います。</p>			市 長
2	予算編成方針について	<p>(1) 一般会計予算は、藤岡市政として最大の規模となりました。財政状況や経済環境に応じて、市民のニーズに対応するとともに、市の将来の発展に向けた投資を行うという、バランスをとりつつ重点分野に積極的に投資することを目指しているものと理解しますが、ご所見を伺います。</p> <p>(2) 市税は、市民税の減収や経済環境の影響などにより減収となっています。市税の増収に向けた施策を講じるとともに、市税の減収による財政への影響を最小限に抑える必要があると考えますが、ご所見を伺います。</p> <p>(3) 市債の増額は、長期的な投資によるものであり、市の将来の発展に寄与するものと理解します。しかし、その返済が財政運営上の課題となることも認識する必要があると考えますが、ご所見を伺います。</p>			市 長

<p>3 市政運営の基本的な考え方について</p>	<p>市民の幸せと暮らしを守るために、5つの観点から重点戦略と予算を策定し、市政を運営するとされています。</p> <p>(1) 子育て支援に関する戦略は、少子化の進行に対応し、若い世代の結婚や子育てを促進するため、多面的なアプローチを採用していることを評価しますが、施策の効果を高めるためには、結婚や子育てに関する個人の価値観やニーズに寄り添う必要があると考えます。</p> <p>①結婚や子育てに関する市民のニーズや意見を調査し、施策の見直しや改善に活用すること、また、市民の声を聞く仕組みや参加の促進を図ることを要すると考えますが、ご所見を伺います。</p> <p>②他の自治体や民間団体との連携や協力を強化し、成功事例の共有やノウハウの交流を行うことや、市外の資源やネットワークを活用することも有効と考えますが、ご所見を伺います。</p> <p>(2) 教育支援に関する戦略では、教育の環境を支えるまちづくりという視点から、多くの課題に取り組もうとしていることを評価しますが、その実現には、関係者の理解や協力が必要不可欠です。朝来市の教育の未来を担う人づくりに向けて、市民や教育関係者の参画と協働について、ご所見を伺います。</p> <p>(3) 高齢者や障害者などの社会的弱者に対する支援を強化することを目的とする戦略は、高齢者や障害者のニーズに応える、社会的に必要かつ有効なものであると評価します。</p> <p>①一方でこれらの施策の実施には、専門的な知識や技術を持った職員やボランティアなどが必要と考えますが、その確保や配置については、どのような計画や方策があるか、ご所見を伺います。</p> <p>②高齢者や障害者というカテゴリーは、一様ではなく、多様な状況やニーズを持っていることから、施策の質や満足度を向上させるためには、高齢者や障害者の主体性や参画を尊重することが必要と考えますが、ご所見を伺います。</p>	<p>市長</p>
---------------------------	--	-----------

	<p>(4) 経済対策に関する戦略では、市内事業者や農業者の収入や雇用を増やし、市内経済の活性化や持続性を高めることを目指しているものと理解します。</p> <p>①市内の産業や観光資源の魅力や特色を、広く効果的にアピールするための戦略や手段が重要と考えますが、ご所見を伺います。</p> <p>②市内の産業や観光資源は、自然や文化などの地域資源に依存しているものが多く、それらの資源の保護や活用に関する施策や取り組みが必要と考えますが、ご所見を伺います。</p> <p>(5) 未来に向けた戦略において、先送りできない将来への課題の重要な事柄が、人口減少による地域力の低下、地域コミュニティの希薄化であろうと考えます。地域協働の仕組みは、地域の特性や課題に応じて柔軟に対応する必要があり、また、地域住民や関係者の参加や協力を促すための工夫が重要と考えますが、ご所見を伺います。</p>	
--	---	--

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 3 月 13 日

番号	9	質問者	横 尾 正 信	タイトル	アコバスからアコタクへの飛躍
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	デマンド型乗 合い自動車の 幾つかの問題 点を問う。	(1) アコタクの事業目的は何か。 アコバスからアコタクへの飛躍の意義はなにか。 (2) 全市運行計画予定台数「9台」は適正か。 (3) 「アコタク」を観光客に開放する方針は適正か。 (4) 3区域のエリア設定は適正か。 (5) エリア間移動は、なぜできないのか。 (6) 利用者登録資格の基準は適正か。 (7) 並行してライドシェアの利用・組み込みを検討して いくべきではないか。			市 長

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 3 月 13 日

番号	10	質問者	森 下 恒 夫	タイトル	朝来市の存続になにが必要か
質問事項		質問要旨			答弁を 求める者
1	人口減少について	<p>(1) 消滅可能性都市が問題とされてから 10 年、増田寛也氏のコメントが新聞で報道されているが、読んでおられるか、本市の総合計画をふまえての感想は</p> <p>(2) 2 月 12 日、市町村 4 割で働き手半減という大見出しで 2050 年推計人口が公表された。朝来市の 15～64 歳人口は 2020 年 15, 128 人、2050 年 7, 318 人で指数は 48. 4 である所感は</p> <p>(3) 労働人口が現在の半分以下となれば、事業所の経営はどうなる、撤退もあり得る。朝来市の経済は成り立つのか又、自治体経営は存続できるのか不安は尽きない。将来への責任を市長としてどうお考えか</p> <p>(4) 前回の質問で夕張市の例を挙げ、又、国土交通省の国土のグランドデザイン 2050 を示し問題提起をしたが、いよいよ待ったなしというところまで来た感がある。撤退の農村計画を唱える現金沢大学の林直樹准教授は消滅を座して待つくらいなら、余力のあるうちにみんなで麓におりるといった選択肢もあっていいと言っています。市内には、当てはまる地域がたくさんあると思いますが市長の所見は</p> <p>(5) 本市は現在幸せが循環するまちを目指して取組みを進めていますが、人口が減り、経済が縮小しても幸せを追い続けることができるとお考えですか。 インフラ、コミュニティ、自治協、消防団は存続できますか、すでに幸せが実感しづらい状況にあると思うが所感は</p> <p>(6) 現在の朝来市の給与所得者の年間給与を総務省の統計資料をもとにシゴトリサーチ編集部により推定されたデータによると額面年収は 3,997,814 円であり全国 1,089 位/1,741 市町村中となっている。県内では 41 市町中 34 位である。但馬全体が低い水準であるが、この水準を引き上げる事を考える必要があると思うが、何かお考えですか</p> <p>(7) 第 2 次総合計画で通勤圏の分析がなされていたが残念ながら進展は無い。人口減少が進み、働き手が半減する町に未来も幸せも無い。故郷を残す為に唯一残された方法は同僚議員が前回主張された、播但線</p>			市長

	電化により姫路市への通勤を可能にすることと計画的にスマートシティ化とを同時に実現すべきと思うが所感は	
2 学校教育について	<p>(1) 少子化の時代にあつて、子供は社会の宝です。教育の場にあつては、誰一人取り残さないという考え方で取り組む事が求められています。まず市内、小、中学校における不登校の実状とスマイルルームにおける対処から見えてきたものはなにか。 市内1ヶ所で足りているのか。</p> <p>(2) 最近、いじめにより自死したケースの報道が目立つ。いじめが原因で不登校になったケースは市内の小中でどれ程あるか、又いじめが原因と判明した場合、学校はどの様な対応をするのか。</p> <p>(3) 教師不足、長時間勤務が問題となっているが、朝来市における実態は、教科以外での生徒と教師との関わり方は十分と思われるか、問題はないか。</p> <p>(4) 中学生の学びの支援、居場所づくりとともに、学校と地域、家庭の橋渡しをすることを目指し前橋市教育委員会では平成28年度から「地域寺子屋」事業を実施しているとの新聞記事が目にとまりました。 直接的な利害関係がないナナメのつながりの中で生徒は本根を出したり、気分転換したりすることが出来るとして効果が認められているようです。検討してはと思いますが所感は。</p>	教育長

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 3 月 13 日

番号	11	質問者	日 下 茂	タイトル	デジタル技術で未来への挑戦
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	VR,AR 調査費	(1)	VR、AR をどう活用するか。また、MR の導入は必要性があるか。		市 長 教育長
		(2)	調査をどのように進めていくのか。		
		(3)	観光、教育、文化財等の部署との連携の考えを聞く。		
		(4)	VR 技術に生じる社会問題の認識と解決策の考えを聞く。		
2	幽霊消防団員、活動履歴無し団員	(1)	活動実績、報酬の支払いの方法等を尋ねる。		市 長
		(2)	活動実績の確認方法と、その実態を聞く。		
		(3)	活動履歴が無いのに公費が支払われていないか。		
3	朝来市の溪谷	(1)	朝来市の溪谷の状況、観光客の実態、安全性について尋ねる。		市 長
		(2)	出石糸井県立自然公園および林道「床尾線」の管理、安全性について尋ねる。		